

ゆたかな労働と生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会

〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地

URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 515

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
あさやけ喜平橋食堂	小平市上水南町 2-23-21-5	TEL 042-312-0793
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



おいしいパンやスコーン、パウンドケーキ等の焼き菓子を作っています。
オープンカフェでお待ちしています。

新緑のうつくしい CAZE CAFE でお待ちしています

あさやけ風の作業所



吉田 奈央さん
(あさやけ風の作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

笑顔いっぱいの日々を



現在、下請け作業を中心に
行っているベガサス班に所属
しています。人との関わりが
大好きで人懐っこく、一緒に
歌を歌ったり、踊りを踊った
りすることも大好きで、歌ク
ラブではいつも身体を揺らし
ながら楽しく歌っている姿を
見て周りの人たちが次第に笑
顔になっていきます。

旅行やおでかけすることが
大好きで、予定が決まると職
員と一緒におしゃべりをしな
がらとても楽しみにしている
様子が伝わってきます。また、
美味しいものを食べることも
大好きで、作業所自慢の給食
を幸せそうに食べている毎日
です。

そんな好きなこと盛りだく
さんの奈央さんですが、入所
当時から仕事の時間に他のこ
とが気になって「仕事やだ」と
座り込んでしまい、中々立
ち直れない姿がありました。
それでも最近、ここに置い
ておくのと机の上に部材を出

しておく自分で気持ちに折
り合いをつけ、さっと立ち上
がり職員が気付いた時にはす
でに仕事を始めていたなんて
事も。そして一度仕事モード
になると、休憩もそこそこ
すごい集中力を発揮してどん
どん仕事を進めていく姿に三
年間の成長を感じる日々です。
特にお気に入りの作業である
ダイレクトメールのラベル貼
りの時には、あまりの作業ベ
ースに職員の準備が間に合わ
ないほどです。

今年度から作業所の旅行や
外出企画、春のミニショップ
など、これまで中止になっ
ていた各種イベントが再開され
る予定となっています。すで
に六月の旅行が楽しみでしょ
うがないといった様子の奈央
さんですが、そうしたイベン
トへの参加を通してご本人の
成長と共に、また新たな一面
が見られるのではないかと職
員も楽しみにしています。

昨年四月に鷹の台作業所に来て、あつという間に一年が経つた。それまでホーム職員だった私にとって作業所は何もかもが新鮮で驚きの連続だった。

私が担当となった下請け班は主にダイレクトメールの仕事をしているが、封入、検品、とじ、ラベルなど作業工程は様々。さらには入ってくる仕事もその時によって様々で、もちろんその都度やり方も違う。何万件と入ってくるそのような仕事を、メンバーは当たり前のようにこなしているのだ。普段何気なく受け取っていたダイレクトメールもこのような過程を経て家に届くのだな。と、そんなことを受け取るたびに考えるようになった。

毎日目まぐるしく変わる作業を、なんとか覚えなければと必死にみんなと作業していると、慣れない私に「こうやるんだよ！」「大丈夫？」と声をかけてくれるメンバーたちに、救われることも多かった。前記した通り作業は封入をする人、とじをする人、検品をする人。とそれぞれの工程を分担して行う。しかしひとりひとりそれぞれで取り組んでいるように見えて、実際はみんなで協力して行うことが重要であり、そうやってみ

メンバーとともに働く

あさやけ鷹の台作業所
鶴田 麦穂

みんなで協力してやっつとひとつ、またひとつと完成していくのだ。もちろん得意な作業、苦手な作業は誰にでもあるためそこをうまく調整したりもするが、どんな仕事があっても「できます。」「やるよ！」と前向きに取り組むメンバーの姿は、とても頼もしい。やり方を間違えたり上手くできないメンバーがいた時、「これはこうやるんだよ。」とメンバー間で教え合う場面もしばしば見られる。そのような仕事に対する取り組み姿勢や雰囲気は、良い方にも悪い方にも、全体に影響がでる。それらを良い方に持って行くのも、職員の大切な仕事なのだと感じる。

仕事になかなか向き合えないメンバーがいる時、以前は「やりましたよ。」「やらないと。」「

と一方的な声掛けをしてしまうこともあったが、最近は「一緒にやろう！」と声をかけて一緒に作業することが増えた。声掛けひとつで、お互い向き合い方が変わっていく気がした。これからも頼もしいメンバーとともに、みんなで励ましあいながら仕事に励んでいきたい。

二〇二三年年度社会福祉法人ときわ会 法人本部事業計画書

一 法人基本方針

今年度事業の中心として、以下の事項を基本に、重点を設定することとする。

- 一 継続発展が可能な運営組織・経営管理体制の確立
- 二 将来の発展を確立するための長・中期計画の確定
- 三 労働を軸とする日中施設の充実と、生活を軸とするグループホーム、相談事業を軸とする地域生活支援センターの経営の充実
- 四 安定した事業の推進と職員が安心して働ける労働環境の確立
- 五 地域・関係家族との連携
- 六 職員・関係者の基本的な人権感覚に関する研修と研鑽

二 運営事業

次の施設・事業を運営する。

- 内は、施設長または管理者である。
- あさやけ作業所 (中川 幸夫)
- あさやけ風の作業所 (西浦 孝幸)
- あさやけ鷹の台作業所 (松本 喜和)
- あさやけ第二作業所 (庄司 定)
- サングリーン (庄司 定)
- あさやけ喜草橋食堂 (細井 基彦)
- 地域生活支援センターあさやけ (川村 武志)
- 共同ホームつくしんぼユニット (布施千恵子)
- 共同ホームつくしんぼ、共同ホームサンライズ、共同ホームはやおさ、共同ホームさらさ
- 共同ホーム一歩ユニット (長堀 晴美)
- 共同ホーム二妻、共同ホームこげら

三 財政運営

(略)

四 二〇二三年の重点的取り組み

- (一) 中・長期計画の策定
今年度は法人設立四十五年の年になります。ここ数年課題となつている「将来構想」の策定に関して、二〇二三年度中に全職員及び法人関係者に提案できるような体制を再構築して取り組んでいきます。
- (二) 二〇二三年法人設立四十五周年、二〇二四年あさやけ設立五十周年

- (三) 管理運営体制の強化
時代に即した管理運営体制を確立するため、次のことを行う。
ア 経営基盤強化のため、財務の中・長期計画を作成して方針を共有する。主として、運営費・施設整備計画を施設ごとに作成する。
- イ 契約マニュアルを作成する。
- ウ 施設単位だけでなく、法人全体の運営を見通した管理規則を研究する。
- エ 組織運営の改善のため、定款

細則の見直しを行い、執行役員・施設長の役割分担を明確にする。

- オ 管理運営体制を確立するため法人事務局会議を設置する。
- イ 会計、事務実務の処理等の検討、会計拠点区分の変更の検討
- イ 施設長会議に諮る事項の整理、資料作成
- (二) 日中施設の建替え等の施設整備について
あさやけ第二作業所の建替事業の推進
築二十九年の建物の全面建替の検討
- (三) 二〇二五年の三年間サングリーンの建替えについて
二〇二三年の期間で建替えの計画を進めていく。
- ③ 日中事業所の短期的に必要な修繕は計画的に進めていく。今年度の計画
エレベーターのリニューアル工事(あさやけ作業所)
空調設備の買換え工事(あさやけ風の作業所)

- (四) グループホームの運営体制とホームの課題
① 新しいホーム建設の取り組み
ア 引き続き早期に新規のホームが実現できるように取り組みを進めていく。
イ 都市計画道路にかかる共同ホームサンライズの移転・建替えについて、家主さんと協議しながら進めていく。
- ② あらたな運営体制と組織的な運営をめざして
ア 日常的に全体を把握する部署としてグループホーム統括施設長を配置する。
イ 職員の全体会議、責任者会議、現場会議を定期的に開催して、意思疎通を図り組織的な運営をしていく。
ウ 入居者家族との面談、父母会開催などを定期的に開催していく。
- ③ 地域での暮らしを支えるホームをめざして
ア 各ホームの週末の支援体制を充実させ、毎週末開所する。上記は二〇二四年度末までの二年間での実現をめざす。
イ 今年度、各ホームの週末の支援体制の充実させていく。
ウ 多様な支援のあり方について検討し、生活の質の充実をめざす。

- (五) 安心して働ける労働環境の確立
職員数も年々増加し、そこで生じる労働問題はきわめて多様になっている。また、ご家族の介護を抱えながら働く職員も多くなつて、長く働き続けられる職場づくりをめざしていきます。
次のような事項を労働組合等とも協議しながら、より働きやすい事業体を構築していく。
ア 二〇二三年四月から年間休日二〇日数を二〇日とする。
・就業規則の改正：具体的に

は日中事業とホームの就業規則を新しく作成

- イ 再雇用制度の活用(二〇一九年度から実施)
- ウ 昨年度、設置された安全衛生委員会の活動を本格的に進めていく。
・産業界の確保を進める。
- エ 短時間勤務職員の就業規則の見直し
・準職員の就業規則を時給職員と別に作成する。
- (六) 地域貢献の推進
地域福祉活動 研究活動等への積極的参加
小平市精神障がい者理解促進研修
修・啓発事業に参加し、企画・運営を担っていく。
障害者の卒後と生活を考える会、小平精神保健業務連絡会等に参加。
地域要求の研究と掘り起こし、対応
算化を含む)

- (七) 職員の資質向上と人材確保
・研修
・職員の専門性の育成のための法人としての援助
各種専門研修への参加、資格取得への援助、自主的グループ研究等への援助など
・研修体系の確立と実行
ア 新人職員研修の開催と研修内容の充実
イ 経験年数別による研修(たとえば、二年、五年、一〇年など)
・フューリング研修の実施
・二〇二三年職員を対象
事例検討会など
・中堅職員研修
五・十年目職員を対象
※研修内容について主任会議で検討する。
ウ 法人内の交換実習を検討し、計画する。
エ テーマ別研修
・個人情報保護、特定個人情報に関するテーマ
・緊急時や災害に際しての対応に関する取り組み
・権利擁護(成年後見制度、虐待問題など)人権問題に関するもの
上記の内容等で、今年度は講演会を計画する。(担当/施設長会議)

- オ 管理職研修
民主的な管理運営についての講演会の開催
社会福祉協議会、きょうざれん等の外部の研修に計画的に参加する。
- カ 実践交流会の開催(十一月二十五日土曜日)
・人材確保
・人材確保にむけて、求人媒体や小市民主催の合同相談面接会等を積極的に活用していきます。
・社会福祉実習の学生やホームのアルバイト学生等とのつながりを大切に、福祉の仕事の魅力を伝え、担い手の確保に努める。

(八) 広報活動について
「あさやけだより」発行。紙面の充実を図り、地域等に法人事業を広報する。
・ホームページの充実を図る。

- (九) 対外任務
きょうざれん、きょうざれん東京支部などにおける任務を積極的に果たす。
- 五 法人組織の強化・発展をめざします。
・各会議・委員会について
△会議
① 理事協議会を経営の要として月一回開催し、
② 施設長会議を月一回開催し、各事業所の運営状況の報告や必要な検討事項などの情報共有を行います。
③ 主任会議は、現場の責任者として施設長・管理員を補佐し、実践を担う立場から理事会に對する意見・提案をすることを中心とする。今年度は職員教育研修の充実を図るため、新人職員研修、フューリング研修、中堅職員研修、実践交流会の企画運営を担う。月一回会議を開催。
△委員会
① 虐待防止委員会
定期的開催し、虐待防止のたの取り組みを進めます。
・虐待防止の学びを深める研修に取り組みます。
② 職員の健康管理・啓蒙活動
・労働安全についての学習会の開催
③ 自主製成品会議
自主製成品の販売促進を連携して取り組む
④ 自主製品の情報共有、商品開発の取り組み
⑤ グループホーム建設委員会
ホーム建設について父母も含めて協議する場
⑥ (仮称)精神分野全体の事業機能を検討する委員会
△実行委員会
法人内を横断的に取り組む事業を推進するための委員会。これまでバザー、アートフェスティバル、イベント、映画会上映等にて実行委員会を結成して取り組んできました。今年度は下記の実行委員会が決まっています。
○ アートフェスティバル実行委員会 六月二十日、七月四日
ルネこだいら展示室
○ わいわいバザー実行委員会
会場が確保されれば開催予定



風の庭から ヒトリンシズカ

あたらしい仲間を迎えました

お仕事頑張ります

あさやけ鷹の台作業所

新入所員の森亮太さんを祝う入所式を開催し、ご家族の方と遠山理事長にもお越しいただき一緒に歌を歌うなどして盛大にお祝いをしました。新入所員ではありますが森さんは昨年11月に入所されているので、リラックスした雰囲気の入所式となりました。



担当職員からは「思いきり楽しんでください」、メンバーからは「仲良くして頑張りたいよ」との言葉が贈られ、森さんからは「封かんの仕事頑張っていて、給食や散歩するのが楽しみです。これからもお仕事頑張りますので皆さんよろしくおねがいします」と決意表明がありました。丁寧に着実に仕事を進めている森さんはとても頼もしいです。楽しいことばかりでないと思いますが、チーム鷹の台の一員として思い切り活動してほしいです。

4月から2名の仲間を迎えてスタート

あさやけ喜平橋食堂

新しい二人の仲間に意気込みを語ってもらいました。

Sさん「おかずを乗せるのを頑張りたい」

Nさん「まだ緊張していますが、頑張っていることを覚えていきたいです」

Sさんはまだ18歳、学校を卒業して社会にでたばかりですが、学生時代とは違い、「仕事にきている」との発言もみられます。またNさんも以前はお弁当作りの仕事をしていたので、スムーズに仕事に慣れていっています。二人とも真面目で、毎日通ってきていますので、これからの新戦力として、あさやけ喜平橋食堂のお弁当製造に力を発揮してくれることを期待しています。



あたらしい仲間を迎えました

これからの成長に期待

あさやけ鷹作業所

今年度、あさやけ作業所に北島夏音さんが入所しました。北島さんは学生時代からコアアラ班で実習をしていたこともあり、先輩メンバーともすぐに打ち解け、休み時間は楽しく会話する場面も見られます。ふきんの縫製を行っていますが、ふきんの原反折りや糸切り、原反のアイロンがけなどの仕事を練習しており、初めて行う仕事に戸惑いながらも一所懸命チャレンジしています。



また、仕事に対する姿勢はとても真面目で、仕事を提供する際には、「もっとやりたい!」と、やる気を感じる言葉も多いです。仕事が終わった後も、「楽しかった!」とやりがいを感じられています。また、最近では二人一組で行う原反折りを先輩メンバーと一緒にやり方を教えてもらい、コミュニケーションを取りながら丁寧に仕事をしている場面が印象的でした。実習に来ていた時には見られなかった糸を丁寧に切る手先の器用さや、原反の折り方や仕事の手順を覚える早さなど北島さんには沢山の可能性を感じています。学校とは違う雰囲気の時折緊張や戸惑いも見られ、まだ慣れないことが多いかもしれませんが、明るく楽しい雰囲気が大好きな北島さんのこれからの成長に期待しています。

仕事を任されるよう頑張る

あさやけ風の作業所

今年の3月に小平特別支援学校を卒業し、4月からあさやけ風の作業所に入所されました。

温和な性格でお話することも好きなので、すぐに周りの人たちと良好な関係を築くことができるそうです。また、困っている人がいると自分から声をかけて手伝うなど優しい一面もあるとのこと。素敵ですね。

パソコンの打ち込みが得意とのことで、風の作業所ではパソコンで編集作業をおこなっているというクラスでのお仕事をするようになりました。一つ一つ仕事を覚えて、任される仕事が増えるよう期待しています。これからの活躍がとても楽しみです!



やさしさつながる福祉のマルシェ
西武新宿線沿線での販売活動がはじまります

あさやけ 花小金井駅内での 販売のお知らせ

第1回 4/21（金）～24（月）

■11:00-19:00
■西武新宿線
「花小金井駅」改札内
*（2階）となります



西武線沿線での販売に、ときわ会が単独出店！

昨年のJR八王子駅内での販売活動をきっかけに、西武線沿線での新たな販売の機会をいただきました。今後継続的な販売活動を視野に、まずは地元「花小金井駅」からスタートします。

ときわ会内の3施設が出店します

当日は「あさやけ作業所」からお菓子・ふきんなどの縫製品の販売。
「たかの台作業所」からは染め物や織物、刺繍などの小物品。
「サングリーン」からは米ぬか100%の石鹸と縫製品の販売を行います。

メンバー・ご家族・職員・地域の皆さんの
応援よろしくお願いします♪

当番を組んでメンバー・職員で販売活動を行います。
西武線沿線での販売価格となりますが、期間中ぜひお買い物や動ましにいらしてくださいと嬉しいです。

あさやけ自主製品会議「西武線販売チーム」 問い合わせ先：あさやけ作業所 042（345）4575

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出してください。ご協力をよろしくお願ひします。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

3月の廃品回収は、雨天のため中止にさせていただきました。皆様には大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

次回は5月20日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。